


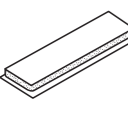
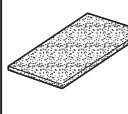
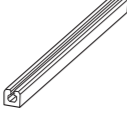


バックカメラ取付キット

形名

MEBC02
取付要領書

ご注意とお願い
 ・本取付キットはBC-20シリーズ専用用品です。BC-20シリーズ以外のバックカメラには使用できません。
 ・取付および接続作業の前にバックカメラの取付要領書「ご注意とお願い」をお読みください。
 ・取付は本取付要領書をよくお読みの上、正しく作業を行ってください。
 ・作業終了後、お客さまへ本取付要領書をご返却ください。

万一、内容物に不足がございましたらお買い上げの販売店にご連絡をお願いいたします。

①カメラカバー	② プチルテープ	③ クッションテープ	④ コードレール
		 × 2	 × 2
⑤ クランプ	⑥ クリーナー		
 × 3			
●取付要領書（本書）			

※③クッションテープ、④コードレール、⑤クランプはケーブル類を配線する際に使用してください。

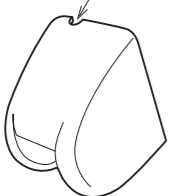
2011-02 epc-0637A

③ カメラカバー取付例（1）

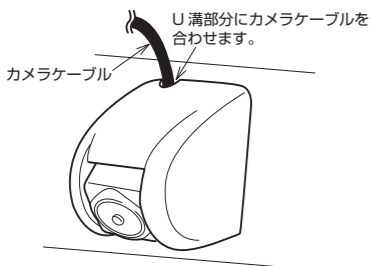
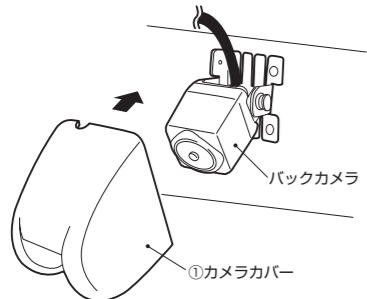
（車両板金等に穴を開けずに、バックカメラを取り付ける場合）

1) ①カメラカバーに棒ヤスリなどを使ってU溝加工します。

U溝加工（裏側に加工用の溝があります）



2) バックカメラの取付、調整完了後 ①カメラカバーを仮止めし、U溝部分にカメラケーブルが配線されていることを確認します。



※①カメラカバーと車両取付面に浮きや隙間が無いことを確認します。

※カメラケーブルの配線には③クッションテープ、④コードレール、⑤クランプを使用します。

① バックカメラを取り付ける前に

貼り付け・配線をするためには、トランク周りやリアゲート周りの内装・外装を一時的に取り外す必要がありますのでご了承ください。

- ・必ずBC-20シリーズの取付要領書をお読みください。
- ・車種によって、取り付けられない場合があります。販売店にご相談ください。
- ・ショート事故防止のため必ずバッテリーのマイナス端子を外してから作業を行ってください。
- ・バックカメラを取り付ける前にあらかじめバックカメラおよびカメラカバーを仮組みし、以下について確認してください。
 - ◇カメラおよびカメラカバーが車両や車両部品に干渉しないこと、バックドアやトランクの可動部にも干渉しないこと
 - ◇カメラブラケットおよびカメラカバー取付面は凸凹が少なくカメラブラケットおよびカメラカバーの両面テープの接着面がすべて接着できること
 - ◇角度調整が容易にできること
 - ◇車両に穴を開けてバックカメラを取り付ける場合は、裏側から防水処理（②プチルテープ貼付）ができること
 - ◇各種ケーブルの配線ルート確認

注意事項

※必ずケーブルを仮止めし、配線ルートやケーブルの長さなどを十分に検討してください。
 ※カメラを車両の最端部に取り付けると車検に通りません。（車両全長が変更となるため）必ず全長内に収まる取り付けを行ってください。

② カメラカバーの取り付けについて

- ・カメラカバーの取付には、車両に穴を開けずに取り付けする方法と車両に穴を開けて取り付ける方法を選ぶことができます。
- 注）車両に穴を開けて取り付ける場合は、BC-20シリーズのバックカメラの取付方法と一部取付手順が異なります。

バックカメラを装着する前に、本取付要領書の「③カメラカバー取付例（2）」をお読みください。

注意事項

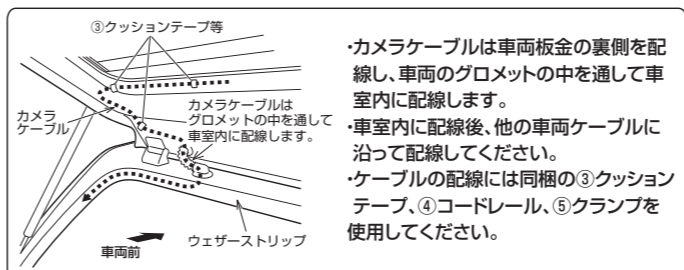
※カメラカバー取付後はカメラの調整はできません。カメラの取付位置、角度を調整後にカメラカバーを取り付けてください。
 ※取り付け後に①カメラカバーを取り外すと両面テープの接着力が低下してカバーが脱落する恐れがあります。一度取り付けた①カメラカバーは外さないでください。

③ カメラカバー取付例（2）

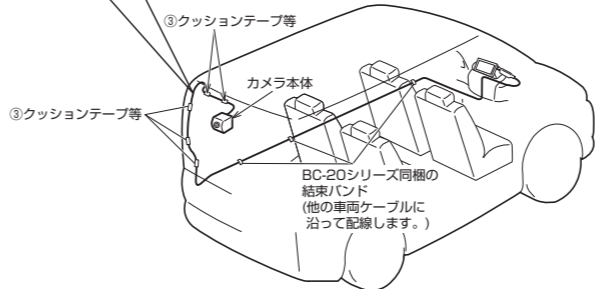
（車両板金等に穴を開けてバックカメラを取り付ける場合）

※車両に穴を開けてバックカメラを取り付ける場合は、作業手順が一部異なります。下記手順に従ってバックカメラを装着後、①カメラカバーを取り付けてください。

配線列
（ハッチバックタイプ取り付けの場合）



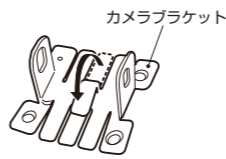
・カメラケーブルは車両板金の裏側に配線し、車両のグローメットの中を通して車室内に配線します。
 ・車室内に配線後、他の車両ケーブルに沿って配線してください。
 ・ケーブルの配線には同梱の③クッションテープ、④コードレール、⑤クランプを使用してください。



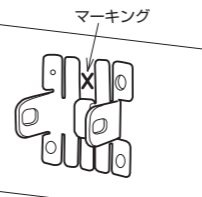
注意事項

※カメラケーブルはウェザーストリップと車両板金が密着する箇所を通して室内に配線しないでください。

1) カメラブラケットの板金を図のように曲げます。このとき、曲げる板金の裏側の両面テープは切り取ります。



2) カメラの取付位置を確認し、カメラブラケットを仮止めします。車両に穴を開ける部分をマーキングします。

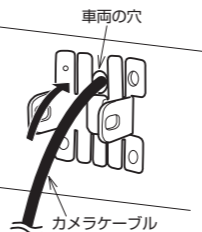


3) マーキングした部分にセンターポンチなどで凹みをつけます。
 4) ドリル（φ5mm）で穴を開けます。

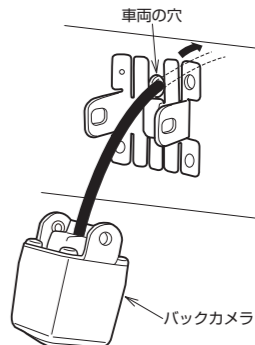
注意事項

※ドリルで穴を開ける場合は、板金裏側からカメラケーブルが配線できることを事前に確認し、干渉するものが無い場所を選んでください。
 ※防錆処理として穴のふちをタッチアップペイントなどで処理してください。
 ※穴あけの際に発生した切り屑はエアガンなどで清掃してください。

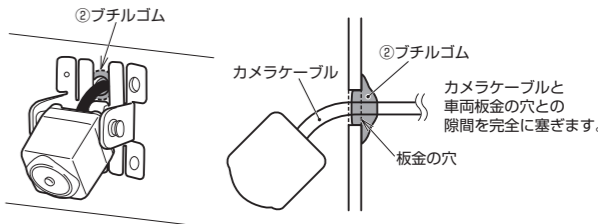
5) カメラブラケットを車両の穴に合わせて取り付け、カメラケーブルを車両の穴に通します。
 ※カメラケーブルの防水ゴムは取り外します。



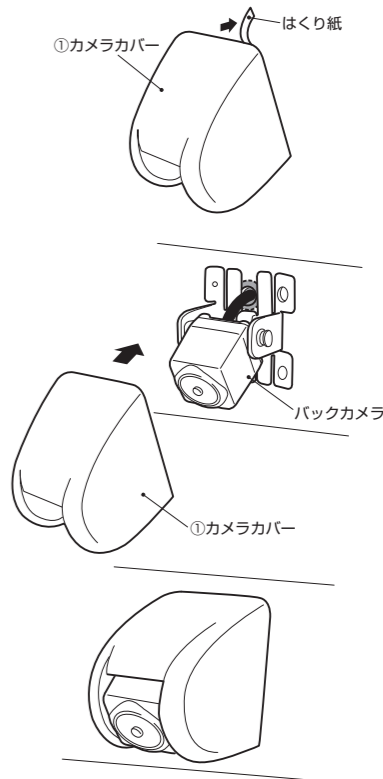
6) カメラをブラケットに装着し、カメラを調整します。
 ※カメラの取付についてはカメラの取付要領書を参照してください。
 ※カメラケーブルの配線には③クッションテープ、④コードレール、⑤クランプを使用します。



7) 車両板金の裏側から②プチルゴムでカメラケーブルと車両板金の穴との隙間を完全に塞ぎます。



8) 最後に①カメラカバーを取り付けます。このとき①カメラカバーと取付面に浮きや隙間が無いことを確認します。



注意事項

※貼り付け面や車両の穴の周囲（裏側）の汚れは⑥クリーナーで必ずきれいに拭き取ってください。少しでも汚れが残っていると十分な接着力が得られません。
 ※はくり紙をはがした後は、接着面に手を触れないでください。
 ※貼り付け時は指などで強く押し付けてください。
 ※接着力が低下するので貼り直しはしないでください。
 ※気温が低いとき（20℃以下）は接着力が低下しますので、接着面を暖めてから貼り付けてください。
 ※雨天時など湿気が多いときは接着力が低下し、走行中にはがれる危険性がありますので、貼り付け作業は天気の良い日中に行ってください。
 ※貼り付け後 24 時間以内は接着状態が不完全ですので水をかけたり、力を加えたりしないでください。